

平成29年度の組織体制について

市長短信
H29年3月24日

1 組織改編の主なポイント

■効果的な行財政改革実行のために

- 「公共施設マネジメント係」の新設
→公共施設等総合管理計画に基づき適正な公共施設の管理を推進し統括するため、専門部署を置く
- 「経営戦略課」への改編
→政策・改革・経営全般の戦略を所管。
企画部門（現「経営企画課」）に経営的側面を持たせ、政策企画と行政改革を一体的に進めるため、財政課の「行政改革推進係」を移管する。

■ブランド戦略、情報発信の推進に向けて

- 「秘書広報課」への改編
→ブランド推進係、広報係、秘書係を同課に統合。
ブランド戦略・情報発信に市長の意向をより強く、迅速に反映し、全庁的な取組として強力に推進する。

■適正な債権管理のために

- 会計課に「債権管理統括業務」所管を新設
→各部署で所管している債権について、一元的に情報の把握・管理を行うとともに、専門としての担当者育成を行う。

■「幼保一元化」を視野に入れて

- 子ども課に「保育・幼稚園係」を設置
→所管業務を見直し、教育部の幼稚園業務を「保育係」に移管、保育園業務とともに同係で所管する。

■その他の改編

- 現「農林土木課」に水産振興係を加え「農林水産課」に改編
- 現「水産商工課」に観光振興係を加え「商工観光課」に改編

【改編される主な課】

■財政課 **新設**
・財政係
・公共施設マネジメント係

■経営戦略課 **改称**
・企画調整係
・行政改革推進係 **移管**
・情報化推進係

■秘書広報課 **統合**
・秘書係
・ブランド推進係
・広報係

■子ども課 **改称**
・児童係
・保育・幼稚園係
・児童手当係
・子育て支援センター

■農林水産課 **改称**
・農林係
・農地整備係 **移管**
・水産振興係

■商工観光課 **改称**
・商工労働係 **移管**
・観光振興係
・企業立地係

「ブランド糸島」の展望

1 横浜高島屋に「伊都菜彩」が出展

■高島屋の基幹店「横浜タカシマヤ」で糸島市の物販催事を開催

- 催事名：JA糸島産直市場「伊都菜彩」がやってくる
- 期間：平成29年3月1日から3月7日まで（7日間）
- 内容：催事場に産直市場「伊都菜彩」を再現。糸島の産品約90品目を販売

■関係者にとっては“初めて”の試み

➢市（行政）にとって“初めて”となる規模

→トップクラスの百貨店「高島屋」での催事は初。100㎡という広さも初めて。

➢伊都菜彩にとって“初めて”となる出展

→単独で販売商品を調整して百貨店催事に出演するのは初

➢高島屋にとって“初めて”となるスタイル

→通常は複数出展者で構成する催事場のすべてを1店舗だけで占めるのは初



2 出展の手ごたえと今後の展望

■出展の結果

➢予想を上回る売れ行き

- 売上総量：約18,000品、売上金額：約700万円
- レジの列が切れ目なく続くほど賑わいを見せる。
- リピーターが多く、毎日通われたお客様も。
- 催事終了後も、追加注文の問い合わせが寄せられる。

➢高島屋の評価

「単価が低い商品群で、これだけの売上が作られたのは評価できる」

「見せ方等を工夫すれば、もっと伸びていただろう。」

「今回の経験を踏まえ、機会があれば企画を立ててみたい」

■今後の展望について

➢今回の評価を受けて

- ・これだけの評価・反応をいただき、手ごたえを感じている。
- ・市内の生産者・事業者の方に自信と勇気をもたらす評価であり、大変喜ばしい。

➢これからの展望

- ・今後、他の糸島産品への広がりや、他の優良店からのアプローチも期待ができる。
- ・今後の販路拡大やビジネスチャンスの広がりに向けて、大きな足がかりとなる取組となった。

➢「ブランド糸島」の確立に向けて

- ・今後、産品だけにとどまらず「糸島」の認知のさらなる広がりや深化、魅力の磨き上げに力を入れたい。